

景観計画区域内行為事前協議申請（令和 3 年 1 月末現在）

◇既存鉄塔の移設計画（撤去新設）

令和 2 年 8 月 27 日 富士川町景観審議会において審議

東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）計画の中央新幹線建設に伴う既存鉄塔の移設にあたり、依頼を受けた東京電力パワーグリッド株式会社から景観計画区域内行為事前協議申請の提出がありました。

計画の鉄塔は、田園居住景観形成地域に位置して、工作物の高さに関する景観形成基準（30m 以下）に抵触している。

新設の鉄塔は、既存の高さ 38.5m よりも高い 77.5m となっており、リニア軌道高さと施工限界高さを考慮し、リニア横断上空の地上高 41.2m 以上を確保と安全性のために必要な高さである。色彩は、標準的な N4.5 を採用する計画となっている。

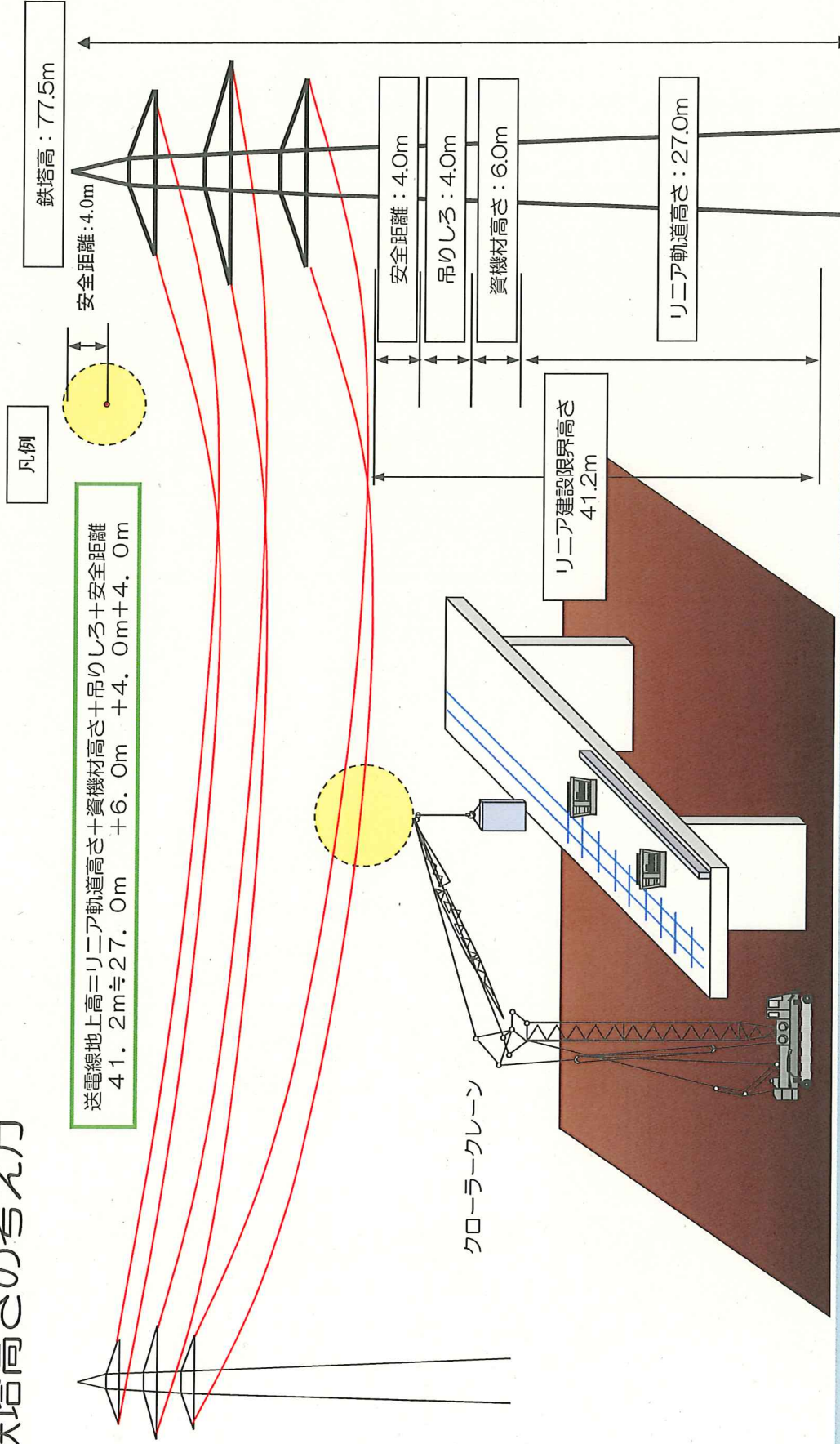
高さに関しては景観形成基準には適合していないが、周囲の田園風景に配慮した色彩として N4.5 を採用して輝度を抑えている。計画として周辺の景観に調和するよう配慮されていることから許容できるものとした。

審議会で鉄塔の色調について、標準的な N4.5 を採用しているが、色彩がどのくらいが良いかというのは、場所によって違う場合があると思う。できるだけ周囲の景観になじむような形で色彩を検討してもらいたいとの意見を受け、山梨県の景観づくり推進室に相談したところ、町から要請があれば景観の専門家を派遣する制度であるアドバイザー制度についての説明を受けました。

色彩の検討会では、景観アドバイザーを招き、景観特性を考慮した色彩計画の考え方について説明を受けて現地で検証を行った。検証の結果、審議会で示した N4.5 の色彩のほか、N7.0 や国交省の推奨する自然色（5Y7.0/0.5）や東電標準色に近い 5Y5.0/0.5 の 4 色を既存の鉄塔の一部に塗装し、現場にて検証し、結果を共有するのが望ましいとのアドバイスを受けたため、後日現場での色彩検証を行うこととした。

景観アドバイザーから提案を受けた 4 色の塗装を鉄塔に行い、実際に塗装した部分を確認して、なるべく違和感のない色彩を選定した結果、5Y5.0/0.5 を採用することになった。

4.鉄塔高さの考え方



【今回鉄塔高さの考え】

- ・JR東海さまより指示されましたリニア軌道高さとし、リニア横断上空の地上高41.2m以上を確保した鉄塔高さにて計画



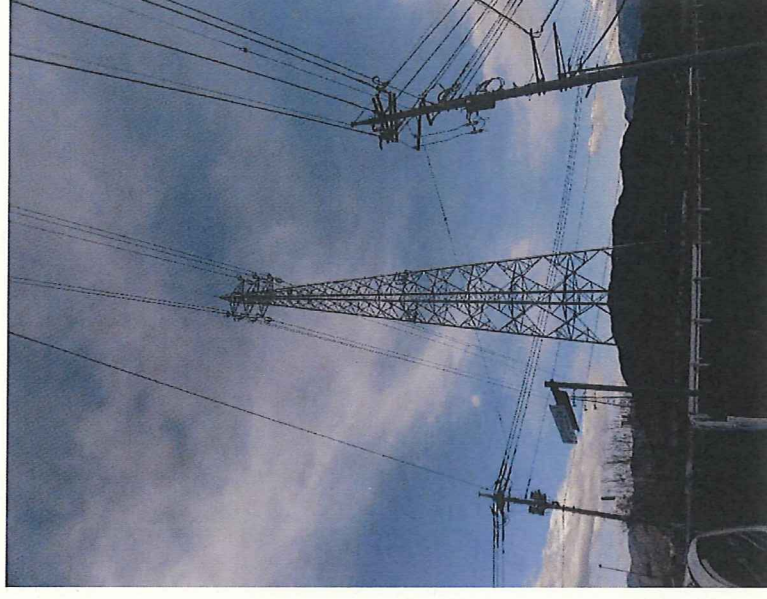
5.増穂線No.35鉄塔新設に伴う景観に対する配慮

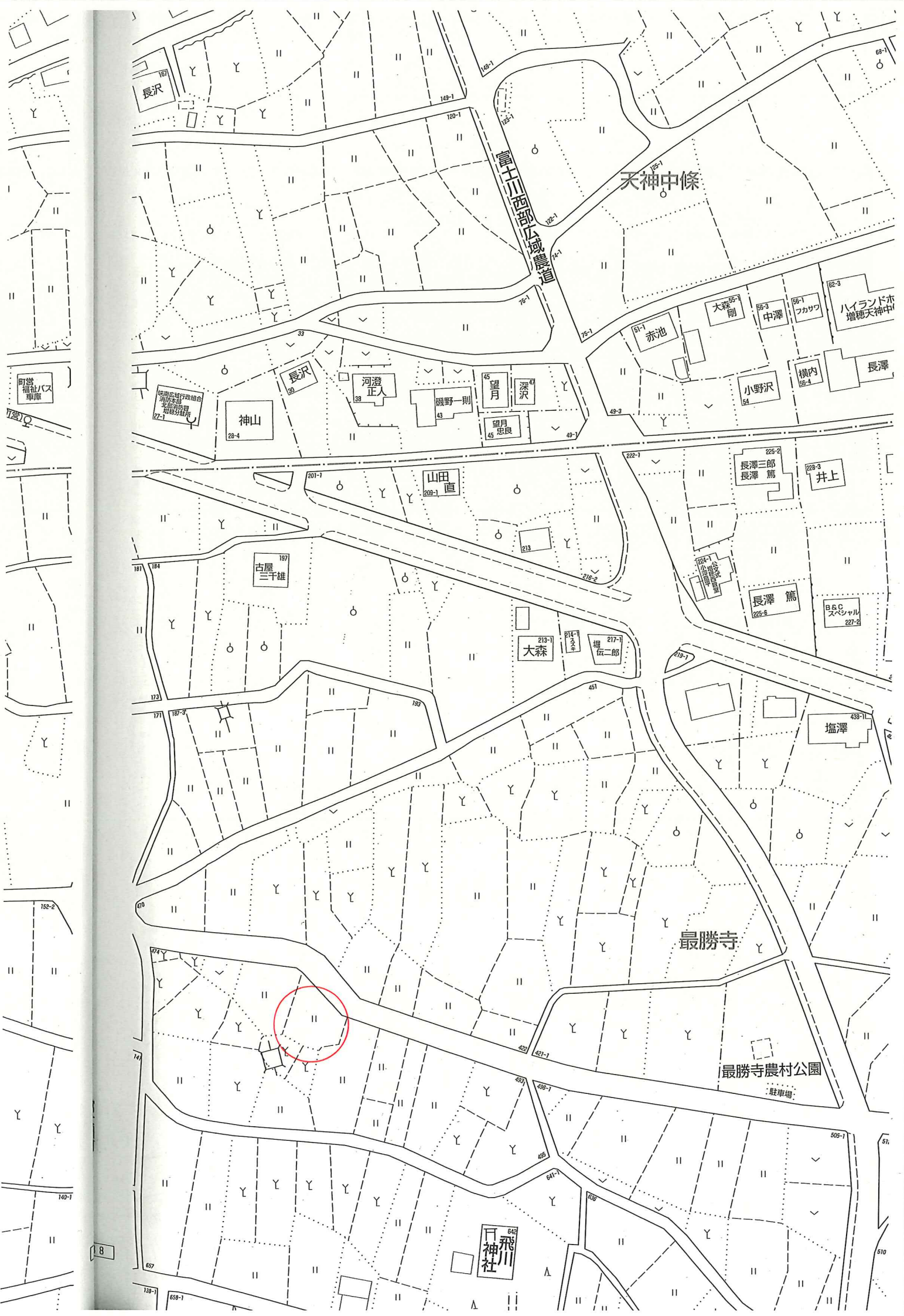
- 鉄塔形状は標準的な「四角鉄塔」とし、鉄塔部材（鋼材）については倒壊等に対する安全を考慮した必要最小限で構成する、シンプルな構造といたします。
- 過去、同件名で建替えた例にならって、N4.5値を計画しております。
- 数を出来るだけ少なくするため1基といたします。

(N値4.5鉄塔の状況)

甲西線№4-1

撮影日：2020.2.27 15：00頃





長沢

富士山西部広域農道

天神中條

町営福祉バス
車庫

城南広域行政組合
消防本部
消防団第1分団

長沢

河澄
正人

磯野一則

望月
望月
忠良

深沢

赤池

大森剛

中澤

フカサワ

ハイランドホ
増穂天神中

小野沢

横内

長澤

神山

山田直

古屋
三千雄

大森

堀伝二郎

長澤三郎
長澤 篤

井上

長澤 篤

B&C
スペシャル

塩澤

最勝寺

最勝寺農村公園

駐車場

飛川
神社

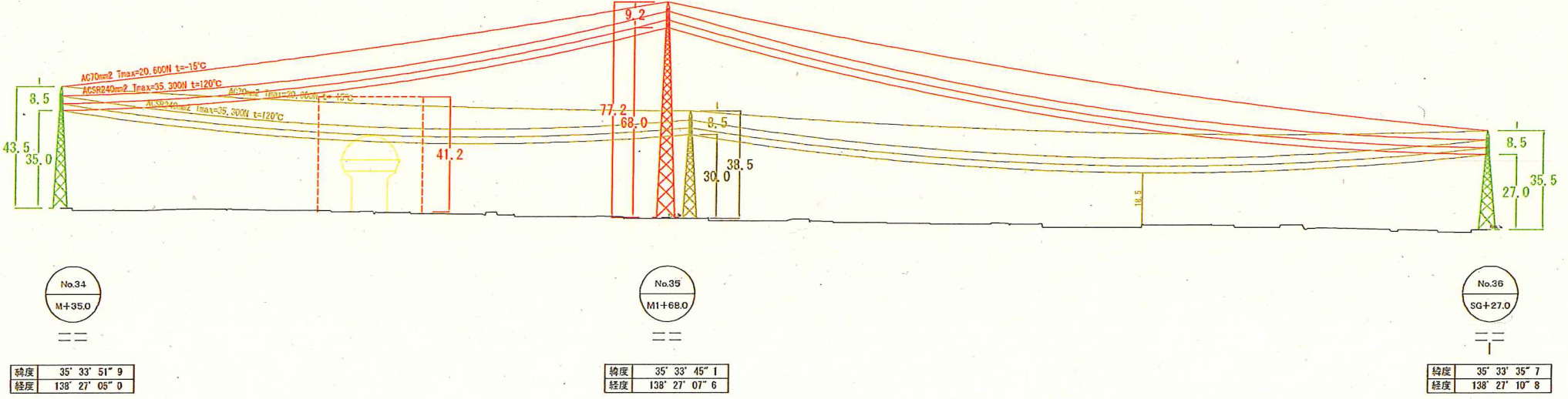
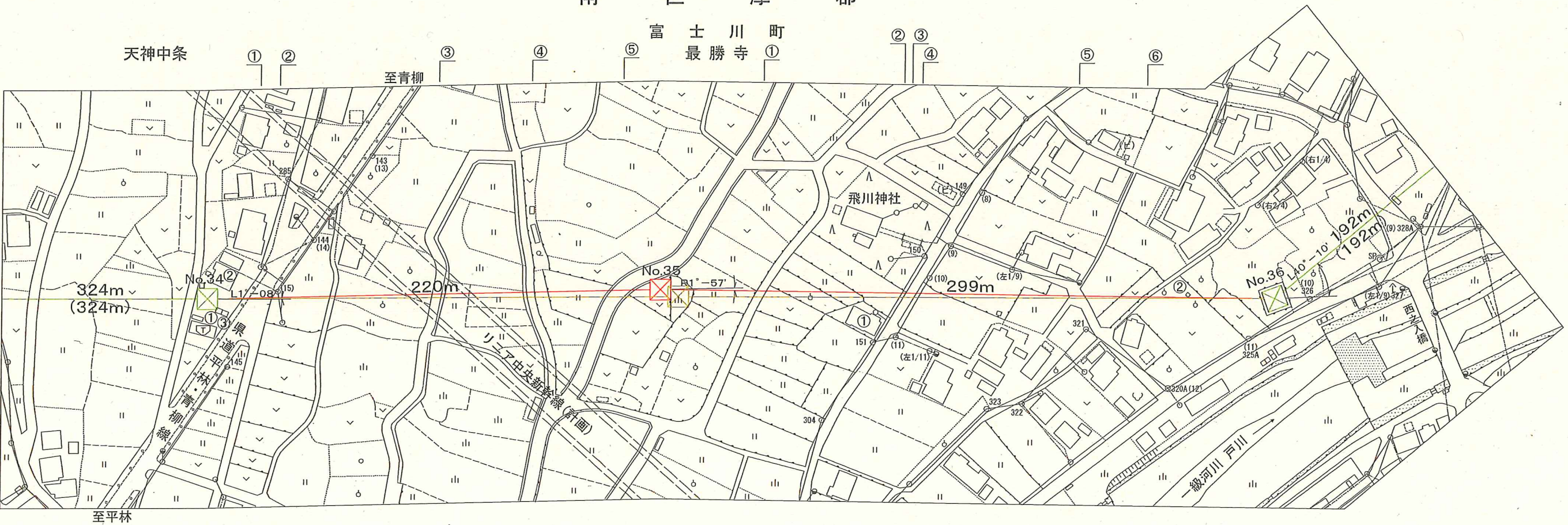
平面図・立面図

図面補遺履歴		
年月	区間	
作成 2019年 7月	No. 34 ~ No. 35	

縮尺：1/2000

南 巨 摩 郡

富士川町
最勝寺



緯度	35° 33' 51" 9
経度	138° 27' 05" 0

緯度	35° 33' 45" 1
経度	138° 27' 07" 6

緯度	35° 33' 35" 7
経度	138° 27' 10" 8

鉄塔装柱検討 (現設計)

縮尺 : 1 / 50

架空地線の設置について

地線と電線との間隔 : 3.3m

電線へ直垂しない対策とし、架空地線を設け、電線と地線の角度が小さければ直垂抑制に繋がる。
本設計では $\alpha = 33.69^\circ$ となり66kV装柱で確保すべきしゃやへい効果90%以上を確保できることから架空地線と最上電線の配置を決定。

最上電線と

中間電線との間隔 : 3.1m

相間の考え方

JP線深さ + 絶縁間隔 + α
 $1.75 + 0.67 + 0.68 = 3.1\text{m}$

中間電線と

最下電線との間隔 : 2.8m

相間の考え方

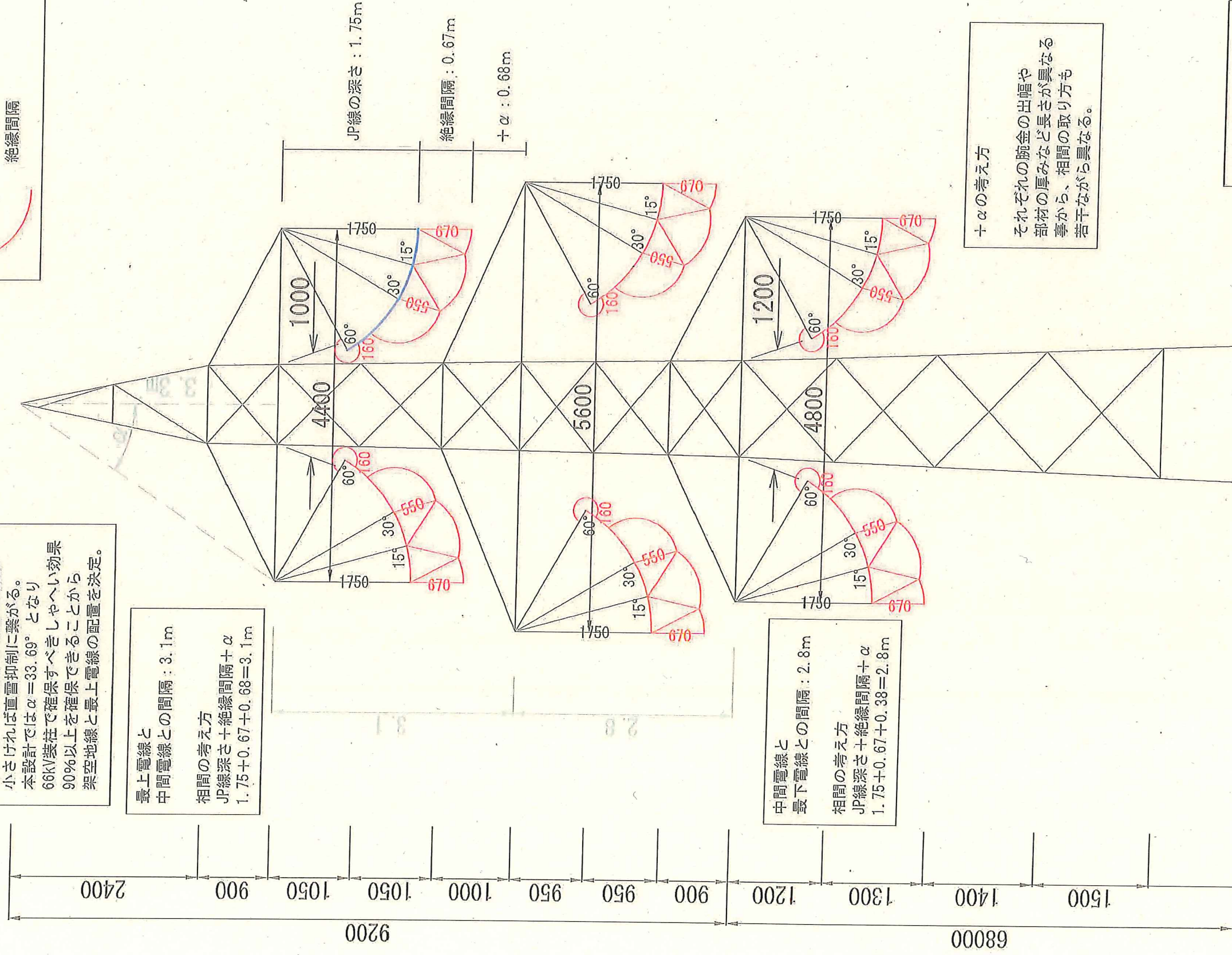
JP線深さ + 絶縁間隔 + α
 $1.75 + 0.67 + 0.38 = 2.8\text{m}$

凡 例

JP線 (ジャンパー線)

※JP線が風の影響で揺動した軌道

絶縁間隔



$+\alpha$ の考え方

それぞれの腕金の出幅や部材の厚みなど長さが異なる事から、相間の取り方も若干ながら異なる。

選定された色 (5Y5.0 / 0.5)

